

インド国バフダ入江湿地における強靱な コミュニティ構築のための気候変動適応に向けた 住民参加型環境教育と生計改善の実践

502/2 Mallick Complex, P.O.-
Khandagiri, Bhubaneswar-751030,
Dist-Khurda, Odisha, India
<http://www.pallishree.org/>



ひろげる助成

2年目

知識の提供・普及啓発



衛生的な魚干物づくりに関する研修の様子

イベントの
延べ参加者数 **7,433人**植樹の本数 **20,000本**今年度計画の達成度 **100%**活動の全体目標に対する
達成度 **70%**

課題

対象湿地でみられる乱獲や気候変動により生物多様性が衰退し、人々の生活が圧迫されている。住民の環境リスクへの理解は乏しく、地域社会の環境適応・回避能力は脆弱である。

目標

バフダ入江湿地の自然環境を再生し、そこで生活する人々が、湿地を賢明に利用し、気候変動リスクに対する環境適応・回避能力を身につけ、コミュニティの強靱性を高める。

活動内容と成果

1. 壁絵、路上劇、ポスター、環境イベント、ニュースレター発行等を用いて環境活動の普及啓発。2. 植林(2万本)や、清掃美化、環境学習、絵画・作文コンテスト等を通じて環境教育の推進。3. ワークショップや研修を通じて

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

対象エリアは二つの州にまたがり言葉も違う文化的障壁もあって、住民同士や住民と外部機関との意思疎通が難しい状況であった。

■ 工夫した点

湿地の賢明な利用を促進するために住民参加型の活動を多く取り入れるとともに、政府の支援も呼びかけ環境活動を活性化させた。



環境保全へのコミュニティ能力構築。4. 「強靱なコミュニティ構築のための学習センター」を10設置し、環境モニタリング等の実施。5. 女性の自助グループを組織化し、環境に配慮した生計活動(衛生的な魚干物づくり)による付加価値の創造および現金収入の獲得。



マングローブ植林作業の様子

今後の展望

バフダ入江湿地で続けてきた環境学習の結果を踏まえた環境教育教材の制作、植林活動の拡大、女性自助グループへの環境に配慮した代替生計手段の獲得に向けた各種研修を開く予定である。